

# 小論文

(200点 90分)

**【注意事項】**

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
2. 問題冊子は1冊5ページ、解答冊子は1冊4ページです。
3. 試験開始後、問題冊子や解答冊子に落丁・乱丁がある場合は、直ちに申し出てください。
4. 解答冊子は表紙と各ページにある所定の欄のそれぞれに受験番号と氏名を記入してください。
5. 試験終了後、解答冊子を回収するので、指示があるまで退席しないでください。
6. 問題冊子は持ち帰ってください。

問題 1

次の英文を読み、問 1 から問 3 に答えなさい。

この部分については、著作権の処理が未完了のため、公開できません。

(Toshiaki Nishihara et al. (2019) *Good Health, Better Life*, Kinseido, p.62. 一部改変)

問 1 下線部①、下線部②をそれぞれ日本語にきなさい。 (15 点× 2)

問 2 The writer explains how dangerous excessive heat can be. Write about how you would avoid suffering from heatstroke, using one or two sentences and at least 20 words in total. (解答欄の範囲内に、1 文か 2 文、計 20 語以上の英文を作成すること) (15 点)

問 3 第 3 段落 (下線部③) で述べられていることに対して、あなたが考えることを日本語 140 字以上 160 字以内で述べなさい。 (15 点)

## 問題2

表1は昭和52年から令和元年までの全国と新潟県における1日あたりの平均食塩摂取量の年次推移を、表2は平成20年から令和元年までの新潟県民の1日あたりの食品別食塩摂取量の年次推移を表している。次の問1から問3に答えなさい。

表1： 1日あたりの平均食塩摂取量の年次推移（1歳以上・男女計）

|     | 昭和<br>52年 | 昭和<br>55年 | 昭和<br>58年 | 昭和<br>61年 | 平成<br>元年 | 平成<br>4年 | 平成<br>7年 | 平成<br>10年 | 平成<br>13年 | 平成<br>16年 | 平成<br>20年 | 平成<br>23年 | 平成<br>27年 | 令和<br>元年 |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 全国  | 13.7      | 12.9      | 12.4      | 12.1      | 12.2     | 12.9     | 12.9     | 12.7      | 11.5      | 10.7      | 10.5      | 10.1      | 10.0      | 9.7      |
| 新潟県 | 18.0      | 14.3      | 14.4      | 13.4      | 13.1     | 13.2     | 12.9     | 12.9      | 11.8      | 10.9      | 11.1      | 10.4      | 9.9       | 9.9      |

(g/日)

表2： 1日あたりの食品別食塩摂取量の年次推移（20歳以上・男女計）

|       | 塩   | 味噌  | しょうゆ | ソース・マヨネーズ | その他の調味料 | 野菜  | 小麦加工品 | 魚介類 | 肉類  | その他 | 合計   |
|-------|-----|-----|------|-----------|---------|-----|-------|-----|-----|-----|------|
| 平成20年 | 1.4 | 1.9 | 2.6  | 0.2       | 1.8     | 0.8 | 0.7   | 0.9 | 0.3 | 0.9 | 11.5 |
| 平成23年 | 1.2 | 1.7 | 2.2  | 0.2       | 2.2     | 0.7 | 0.8   | 0.9 | 0.3 | 0.6 | 10.8 |
| 平成27年 | 1.3 | 1.5 | 1.9  | 0.2       | 2.1     | 0.7 | 0.7   | 0.8 | 0.3 | 0.7 | 10.2 |
| 令和元年  | 1.1 | 1.4 | 1.6  | 0.2       | 2.4     | 0.7 | 0.7   | 0.8 | 0.4 | 0.8 | 10.1 |

(g/日)

(出典 新潟県「令和元年県民健康・栄養調査報告」令和3年1月29日公表、一部改変)

- 問1 表1のデータを参照し、全国と新潟県における平均食塩摂取量の推移について、読みとれる特徴を2つ挙げなさい。(10点×2)
- 問2 表2からは、新潟県民の1日あたりの食塩摂取量の合計値が平成20年から令和元年にかけて減少していることが読みとれる。その要因について述べなさい。(20点)
- 問3 日本人の食事摂取基準(2020年版)によれば、1日あたりの食塩摂取目標量は成人で約7gである。1日あたりの食塩摂取目標量、表1および表2のデータを踏まえ、今後、新潟県民の食塩摂取をどのようにしていくべきか、また、それを達成するための方策や工夫について、あなたが考えることを、140字以上180字以内で述べなさい。(30点)

問題 3

次の文章を読んで、問 1 から問 5 に答えなさい。

この部分については、著作権の処理が未完了のため、公開できません。

この部分については、著作権の処理が未完了のため、公開できません。

(出典 内田樹著 『街場のマンガ論』 小学館文庫、二〇一四年、二十七～二十九頁 一部改変)

問 1 傍線部①から③のカタカナを漢字で書きなさい。(各三点)

問 2 傍線部 A  について、韓非が矛と盾に例えたと筆者が考えるものを文中から抜き出しなさい。(四点)

問 3 傍線部 B  とある。著者が  と考えた理由を説明しなさい。(十五点)

問 4 傍線部 C  がある。著者がどのように考えた理由を説明しなさい。(十五点)  
と

問 5 本文冒頭の波線部に述べられている   について、あなたが考える   ことを表す具体的な事例を本文の趣旨を踏まえて百五十文字以上、二百字以内で自由に書きなさい。(二十七点)

問題文中の  部分は、本文からの引用部分につき、公開できません。